

## 芙蓉



社会福祉法人 芙蓉会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119

児童養護施設	ひまわり園	☎0545-52-0402	通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎0545-55-1800
地域小規模児童養護施設	ひろみ	☎0545-22-1281	通所介護	ふようデイサービスセンター	☎0545-52-1397
乳児院	恩賜記念みどり園	☎0545-53-5665	居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎0545-52-5500
企業主導型保育施設	さくら保育園	☎0545-55-1118	地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	☎0545-30-8324
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎0545-55-1800	在宅介護支援センター	みぎわ園	☎0545-55-1811
ショートステイ	みぎわ園	☎0545-55-1877	看護小規模多機能	みぎわの里	☎0545-30-7952



## 介護技能実習生に思う

みぎわ園 戸巻 俊裕

全国的にもコロナウィルス感染症が収まりつつある中、厚労省の発表に、令和5年3月13日以降マスク着用は「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる事」との発表が有りました。2020年1月 横浜港に着岸したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号に端を発した約3年間、長い時をマスクと共に過ごしてきました。この様な中で、みぎわ園には新しい職員もマスク着用での面接を受け入職された方々が居られます。これらの職員はマスク着用のまま、入居者や利用者に対してコミュニケーションを取って来ました。表情もわかりづらく、大変な思いがあったと思います。

この様な背景の中、頑張った職員の一人に、ベトナム国介護技能実習生が居ます。3年前に入国、介護技能実習生として『みぎわ園』での実習をしている職員です。彼女は、入国当初は片言の単語を何とか話す程度でした。慣れない日本語や、日本の習慣、文化、食生活の違いなど多くの葛藤を乗り越えながら、何とか日本で頑張らなければと努力していました。そんな彼女に対して、担当となったユニットの職員は、何とか一日でも早く日本語に慣れて欲しいとの思いから、色々な物にフリガナのシールを貼ったり、聞き取りやすい言葉でゆっくりと話を

したりと工夫をして指導をしてきました。その結果3年後の今では、JLPT日本語能力検定でレベルN2を取得するまでになりました。N2の能力とは、ある程度の日本語をベトナム語に通訳が出来るレベルです。普通の会話だけでなく、仕事上介護の専門用語も覚えなければならず、また本人は「介護福祉士になりたい」との希望から、現在仕事が終わってからも勉強をしていると聞いています。本当に努力しているのだと感心しています。そんな介護技能実習生にも昨年、ベトナム国より後輩の技能実習生2名が来日し、その後輩達に私達職員が伝えた事を通訳し、後輩たちからは分からない事を親身になって教えるなど日々介護業務に励んでいます。

今年8月からは、新たにミャンマー国より2名の介護技能実習生が来日する予定となっています。この新たな技能実習生としての仲間も同じように、日本語を学び、介護の技術の他、様々な日本の文化などを吸収して先輩実習生と共に成長して頂ければと願っています。

今、介護人材の不足が大きくクローズアップされる中で、この背景を肌を感じながら、外国人介護技能実習生としての就労を一つの頼みの綱としている日本全国の介護事情に、これからの職員の方々は貴重な存在となるであろうと思いつつ、共に学び、これが国際交流のひとつとして共に歩む必要を感じています。

### ★みぎわ園★

#### チョコレートケーキ作り

クッキーを細かく砕いて1から作ってみました。美味しそうに出来上がりホイップやチョコでの飾り付けに皆様満足しているようでした。



#### バレンタインデー



#### いちご狩り

大小様々ないちごを皆様3つずつ取りました。自分でいちごを取って練乳で食べる、日々の生活とは違った体験に笑顔が溢れていました。



## ★ふようデイサービスセンター★

### ～お正月～

今年は手作りでふよう神社を作りました。絵馬に願い事を書いて飾り、おみくじを引いて初詣を楽しみました。また、昨年から作成していた貼り絵が完成!!皆様が個々に取り組んでいた貼り絵が一つにまとまると、とても迫力のある作品に仕上がりました。ふようデイの玄関も可愛く描かれています。毎月絵が変わるので、是非見に来てください☆



### ～節分～

今年も赤鬼と青鬼が現れました!手作りだんご太鼓を鳴らして鬼を引き寄せた後は、豆や菓子を投げつけて撃退しました。棒も使って好戦する方も!鬼が去った後はケーキバイキングで楽しみました。



### ～さくら餅作り～

ひな祭りを行いました。生地を焼いた後は、各々あんこを包んで美味しく召し上がっています。自分で作ると一段と美味しいですね♪  
ご利用者のリクエストでお焼き作りも行いました。皆様「懐かしい味だなあ」と昔を思い出していました。

### ひな祭り



## ★みぎわの里★



### 初詣

新年を迎え今年もご利用者の笑顔に包まれています。お正月は書初め、みぎわの里神社での初詣。節分では豆まきを行い、厄払いを行いました。

周年祭を行いました。バルーンアートやじゃんけん大会などで盛り上がりました。



みぎわの里も今年の2月で8周年を迎える事が出来ました。ご利用者・ご家族のご理解・ご協力の賜物と感謝しております。これからも職員一同、ご利用者の笑顔に出会えるようサービス向上に努めて参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ★デイサービスセンターみぎわ園★

### 忘年会

昨年末に行いました。今回は石狩鍋とすきやきの2種を用意した鍋パーティーとカラオケ大会などを行い、ノンアルコールビールやジュースで乾杯もしました。

### お好み焼き作り

寒さ本番の1月に行いました。熱々をフーフーしながら食べて、心も体もぽっかぽかになりました。



### 寿司バイキング

冬の恒例行事!今年はマグロ、えび、とびっこ、サーモン、たまごでした。お寿司はみんな大好きであつという間に売り切れました。

## ★ひまわり園★



いつも  
ありがとう



富士中央ライオンズクラブ様



nattoku住宅様



昨年度もたくさんの方々からご支援を頂きました。新型コロナウイルスの影響でまだ何かと制限されていますが、そのなかでもこのように子どもたちのためにとたくさんの素敵なプレゼントを用意してくださいました。本当にありがとうございました。紙面に限りがあるため、一部抜粋してご紹介させていただきます。



ADEKA様



A-StarOne International様



フロンティアジャパン様



静岡県わた寝具商工組合様



株The SEED様

## ★ひろみ★

「炭焼きレストランさわやか」さんからのご厚意を頂き、お食事をしてきました。

ハンバーグは今や全国的に有名になっていますが、パフェもとても美味しいです。イチゴが沢山のっている大きいパフェに、子ども達は大喜びでした。



新年挨拶会

1月1日に新年挨拶会をしました。子どもたちは一人一人お年玉をもらい、嬉しそうでした。今年も一年みんな元気に過ごせますように。

ありがと～  
ございます



にてる？

節分

節分の日には鬼のお面を被りながら、みんなで大きな鬼のパンツを作りました。協力してかわいい鬼のパンツが完成しました。お部屋で遊んでいると、本物の赤鬼と青鬼が登場!!あまりの怖さに大泣きしてしまう子がたくさんいました。最後はみんなで「鬼は外～」の掛け声で鬼退治ができました。



こわく  
ないよ...

卒園の日

今年度は2名の卒園です。笑ったり、泣いたり、、、色々な表情を見せてくれたね。心も体もぐんぐん成長している子どもたち。新しい環境でも元気に楽しく過ごしてね。



なに色が  
いいかな？

# 令和5年度 社会福祉法人芙蓉会 事業計画

## 「温故知新 創立120年を振り返る」

新型コロナウイルスによる感染症の猛威が続き、多くの当法人施設内にも施設内感染によるクラスターが発生しています。もはや市民生活を維持しながらの施設内感染を完全に防ぐ方法は見つからないのが現状です。また、本年度より新型コロナウイルス感染症の分類が5類となり、巷でのコロナウイルスへの対策が緩和されるようですが、当法人を利用する方々に合わせた、最善と思われる対策を講じながら、当法人を必要とする方々の安心・安全を守ることを第一に考えた事業を進めます。

社会福祉法人芙蓉会は本年6月で創立120周年を迎えますので、創立以来の歴史を纏めた記念誌の発行や、法人紹介動画の公開、ふようデイサービスの新築移転などの計画を実行に移していきたいと思えます。

当法人は創立以来、利用者本位・利用者第一主義を基本にサービスを提供してきました。前身施設の富士育児院時代から培われてきた120年分の伝統や、手技・気風などが存在していますので、それらの中の良いものは残し、現代には相容れないものが無いか検証する機会を持ち、「施設の常識は社会の非常識」と言われることが無いように襟を正していきたいと思えます。

本年度も、当法人を利用する方々の最善の利益の追求と、地域などから求められる公益事業の展開を継続するために、積極的に当法人のアピールや求人情報を発信し、次世代の担い手の確保や、当法人を選んで働いてくれている職員の誰もが安心して仕事が続けられる労働環境の整備、職員自身がキャリアアップする事に対してモチベーションの維持ができることなどを軸に、先達の作り上げてきた思想や理念・支援技術を継承し、進化・発展させる次の世代の人材の確保や、育成をおこなう事業を継続して展開することを心掛けます。

### 【法人本部】

社会福祉法人芙蓉会は2023年6月で創立120周年を迎えます。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」の下、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動(買い物困難者への支援事業)の実践を推進して参ります。

現在、社会福祉法人では「人材確保、育成、定着」に苦慮しており、このような厳しい環境下で、「人材が集まり・育ち、定着する職場」をどのように整えるべきか、事業の継続性や持続的な成長性を実現するために「人材」について経営戦略と整合性をもって推進することは、当法人の優先すべき課題であります。福祉サービスは人を相手として、人の手によって行われる対人サービスであり、福祉人材の確保及び資質の向上は、福祉サービス提供そのものに影響を及ぼすことになり、新卒者だけでなく中途採用の強化が求められ、採用方法にも工夫が必要となり良質な福祉サービスの継続的な提供に向けて、「福祉の仕事の魅力」の発信(WEBの有意義な活用等)に向けて不断の努力を重ねて参ります。最後に、新任職員は4月に坂倉裕子氏による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び、秋には立石雅世弁護士、塩谷知一弁護士及び平山周恒弁護士による「ハラスメント研修」を受講することで、働きやすく魅力ある職場づくりと職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。

### 【児童養護施設 ひまわり園】

国の「新しい社会的養育ビジョン」(平成29年度)の方針に基づき、児童養護施設の在り方は「小規模かつ地域分散化」「高機能化と多機能化」を求められており、それらの実現に対する加算が進んでいます。具体的には「小規模グループケア加算」「社会的養護処遇改善加算」「小規模かつ地域分散化加算」「地域小規模児童養護施設等バックアップ職員加算」「家庭支援専門相談員加算」などがそれにあたり、小規模かつ地域分散化や地域家庭や里親支援等を充実させることで加算を受けることができます。しかし現実的には小規模化や地域分散化に必要な人員の確保、質の確保、本体施設の今後の扱い、里親確保などの課題が山積しています。ひまわり園の本体施設の設備は大規模修繕による老

朽化対応をおこなったものの、小規模グループケア実施のためには「ユニットごとの独立した玄関及び通路の確保」という課題、更に人材不足という問題にも直面しており、先を見通すのが困難な状況に陥っています。分散化することにより空きができたユニットを「一時保護機能」「親子訓練機能」などを検討しているとはいえ、6ユニットの活用方法と設備整備費用、人材確保をどのように進めていくのか非常に難しい問題であると考えます。また地域分散を進めるとしても、新たな生活拠点となる場所や住居の確保、職員の人員と質の確保という課題があり、一足飛びに実現できることではありません。家庭的養育は器だけの問題ではないので、十分な準備が必要だと考えます。特に職員育成は重要課題です。そのためには在籍職員の資質向上が根底になければなりません。研修内容の充実を令和5年度は特に力を入れていきたいと考えています。

### 【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿った支援を提供することを目指します。

昨年度、新任職員2名がひろみに配属され、職員が4人体制になりました。単独勤務の時間が減少しましたが、どういった勤務体制で児童を養育していくのが良いのか、未だ定まっておりません。事業を進めながら、より良い養育環境、勤務体制を整えていきます。近年、入所児童数の確保に苦慮しております。現在の社会的養護において、児童の意見を尊重することが最重要となっており、本園からひろみへの移行となると、転校や担当職員が変わるなどの問題があり、移行には困難が生じます。これらの問題に対しては、縦割りのユニットでの養育、担当制を重視している当園においては、容易に解決出来る問題ではなく、施設の移転等を含め、園全体で対応策の検討が必要です。また、建物の老朽化に対しても対策の検討が必要です。家屋の改修や移転など、具体的な計画を立てていく中で現場としての意見も積極的に発信し計画が円滑に進むよう努めていきます。

新型コロナウイルス感染症などの感染症への対応については、法人や本園の協力・助言を得ながら地域小規模施設として出来る最善の対策を図っていきます。

地域との良好な関係を築いていくことに努めます。地域住民との日常の関り

を大事にしていくと共に、町内会や子ども会などの、地域の行事に積極的に参加することで、施設や子どもへの理解が深まるよう努めていきます。また地域の中の児童福祉施設として、地域に貢献出来ることを模索し、日常生活の中で実行していきます。

令和5年度は本体施設の支援のもと、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

### 【乳児院 恩賜記念みどり園】

昨年度は定員を25名に減員し運営を行いました。コロナウイルス感染症の施設内感染で感染隔離対策による行動抑制や自粛により、大幅に生活様式や活動が制限されました。職員達は自分が感染することで、施設内にコロナウイルスを持ち込むことがないように気を配ることで多くのストレスを感じ、疲弊し、そんな職員と生活を共にする子ども達も、ただならぬ雰囲気にも不安を感じ続ける日を過ごしてきました。残念ながら昨年3月中旬から4回のコロナウイルスの施設内感染があり、内2回はクラスターになりました。子ども達のみならず職員にも感染者が出て、夜勤職員の不足や、過重労働を緩和させるために、緊急で臨時の夜間勤務を追加するなどの対応を行い、なんとか隔離解除へこぎ着けましたが、現在の養育形態や、居室配置では感染症の隔離も、大きな集団毎の隔離体制しか取れず、ユニット内の子ども達全員が感染しなければ隔離解除ができない状況で、養育形態や居室配置上の限界を感染対策期間中、何回も痛感させられました。

令和5年度中にコロナウイルス感染症が5類に分類され、昔のコロナ対策も緩和傾向となりますが、マスクができず、言葉によるコミュニケーションが難しい乳幼児の安心・安全を守るためにも現状のコロナ対策を継続しながら事業を進めてまいります。

恩賜記念みどり園は昭和27年4月1日に認可を受けて今年で71年目となります。また、現在の園舎は昭和51年3月の増改築後46年経過しています。鉄筋RC造の園舎改築の基準は47年とされていることや、一昨年来の静岡県の指導監査で、静岡県独自の耐震基準を満たしていないため、助言指導を受けて続けていること、現状の間取りでは時代の要請に応えることが難しい状況です。乳幼児の相談支援や、在宅家庭への支援(ショートステイ・母子のデイサービスや一時保護等)を充実させた乳幼児支援センターの建設計画を完成させて、国が進める家庭的養護推進計画加速化プランの最終年度である令和6年度に、増改築がはじめるように静岡県と協議しながら計画を進めたいと思います。なお、現園舎には配管の保温剤などにアスベスト材が使用されていることや、RC構造のため解体に時間が掛かるため、令和6年度～令和7年度の2年間の工期で進めたいと思います。

また、園内での養育に関しては、昨年度のコロナ園内感染時の体験を基に、夜間緊急対応ができる職員の配置を念頭に置いた宿直勤務の設置や、早朝勤務者の複数配置等、新園舎での養育形態に対応できるよう勤務形態を充実させることや、令和4年度に実施した、社会福祉施設第三者評価受審結果を基に、自己評価委員会を中心に園内の養育状況等の検証や見直しを行うと共に、新園舎建設に向けた、より一層の小規模化・分散化された養育形態を模索しながら、感染症対策期間中でも親子関係再構築や、関係促進のために、WEBを活用した面会や、職員研修の受講など、より子ども達のニーズに応えられるよう体制の整備を心掛けます。

また、昨年度報道機関がござって取り上げた児童福祉施設での不適切な対応への対策を考慮して、監督官庁から「安全計画」の策定を求められています。施設内にバラバラに策定されている安全対策について、「安全計画」という括り

で纏めればできてしまいそうですが、施設内の安全対策についての見直しをおこないます。

24時間365日稼働している児童福祉施設での安全管理の見直しに伴う体制整備や設備の充実、職員の労働環境の整備等、事業継続に向けて必要な人材の確保や養成についても事業計画に盛り込みながら事業を進めます。

### 【特別養護老人ホーム みぎわ園】

一昨年度来から進めている「ふようデイサービスセンター新築移転事業」について、第一期工事、現職員駐車場(建築地)での整備と進入路造成工事の完成を受けて、本年度第二期工事事業が開始されます。

2020年から猛威を振るっている新型コロナ感染も、ようやく落ち着き始めています。ただ昨年前半期は、在宅系介護サービス事業所内でのクラスター等による休業、利用者受け入れ停止等で経営的にかなり大きなダメージを受けてしまいました。この事を教訓に、同感染症予防対策には細心の注意を払い、事業を進めなければなりません。

これらの背景を熟知しつつ、特養に於ける今後の入居状況が厚労省より発表され2022年と2019年比で13.5%減少(全国)、静岡県に於いても同様で、入所基準の介護度3以上の人が5,069人と約700人強の減少が見られます。背景として昭和10年代生まれの入居希望者の減少、有料老人ホームの低廉化などでの競合が考えられています。

この様な中で、介護人材の不足が大きく影響する介護現場に於いて、国は声を高く賃金アップを広報している今、3年に一度の介護報酬改定が影響し、これに応えるべく賃金アップも人件費率70%超えの現状では望めなく、一般経費の高騰なども相まって賃金アップへの手立てに厳しく、いかに介護職員の流出を食い止めるかが、今年度のもう一つ大きな課題でもあり事業運営での柱となっています。

如何ともし難いと思いつつも、外国人介護人材(技能実習生)の登用であり、これに依存するとして常態化する事が懸念されます。

介護職員の日常業務にある介護・支援・日誌等の仕事を効率的に簡便化を図る事を視野に進める事も検討しています。今後の対策としてIT化を進める事で、現在手書きでの作業からITソフトでの対応により、手書き作業の負担軽減を図り、タブレットデバイス導入、インカム配備によって時間の省力化などで、介護職員業務の改善を図る研究も考えています。

今後の介護現場の有り様において、いかに介護職員の人心をしっかりと見据えたマネージメントが求められ人材流出を防ぐかでもあります。

この様な難しい運営の中で、ふようデイサービスセンターの新築移転事業は地域へのアピールと併せて職員へのPRとで大きく奮起の出来る素材が提供されるものと思います。当然に借財を抱えながら、加えて介護人材の増員も図りながらの運営とはなりますが、法人の120周年記念の節目に相応しい事業となるよう、介護事業展開に一石を投じる事が出来る事業計画として進めます。

### 【企業主導型保育事業 さくら保育園】

富士市は待機児童が0と言われておりますが、0・1・2歳の子どもが保護者の居住地域の保育園に入れるか保証されておりませんので、当法人内に保育施設を開設する事によって、保護者が子どもとともに出勤し、保護者の退勤後すぐに迎えに来てもらえることや、居住地に近い保育園を探すまでの期間が長くなり、近隣の保育園に3歳で入園できるよう支援を続け、保護者への支援を目的として事業を進めて参ります。

また、法人の多様な就労形態に対応する就業環境(仕事と子育ての両立)を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に進めて参ります。

# 令和5年度 資金収支予算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

勘定科目	本年度(A)	前年度(B)	増減額(A)-(B)
事業活動による収支	815,406,000	773,904,000	41,502,000
収入	491,934,000	519,424,000	-27,490,000
支出	16,152,000	17,638,000	-1,486,000
その他の活動による収支	324,000	574,000	-250,000
収入	1,795,000	19,000	-1,900
支出	1,034,000	5,323,000	-3,528,000
その他の収入	6,751,000	1,173,000	-139,000
その他の支出	8,417,000	8,417,000	-1,666,000
流動資産評価差等による資金増加額			
事業活動収入計(1)	1,333,396,000	1,326,472,000	6,924,000
人件費支出	986,819,000	970,763,000	16,056,000
事業費支出	166,950,000	169,757,000	-2,807,000
事務費支出	110,961,000	105,522,000	5,439,000
利用者負担軽減額	2,650,000	2,650,000	
支払利息支出	1,107,000	779,000	328,000
その他の支出	4,761,000	4,935,000	-174,000
事業活動支出計(2)	1,273,248,000	1,254,406,000	18,842,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	60,148,000	72,066,000	-11,918,000
施設整備等補助金収入		118,685,000	-118,685,000
施設整備等寄附金収入			
設備資金借入金収入	150,000,000		150,000,000
固定資産売却収入			
その他の施設整備等による収入			
施設整備等収入計(4)	150,000,000	118,685,000	31,315,000
設備資金借入金元金償還支出	24,028,000	35,428,000	-11,400,000
固定資産取得支出	231,654,000	215,232,000	16,422,000
固定資産売却・廃棄支出			
ファイナンス・リース債務の返済支出	684,000	684,000	
その他の設備整備等による支出			
施設整備等支出計(5)	256,346,000	251,344,000	5,022,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-106,346,000	-132,659,000	26,293,000
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入			
長期運営資金借入金収入	30,000	131,000	-101,000
長期貸付金回収収入			
投資有価証券売却収入	48,781,000	98,641,000	-49,860,000
積立資産取崩収入			
拠点区分間長期借入金収入	25,000,000	25,400,000	-400,000
サービス区分間繰入金収入	14,000,000	13,000,000	1,000,000
その他の活動による収入	286,000	286,000	
その他の活動収入計(7)	87,811,000	137,458,000	-49,647,000
長期運営資金借入金元金償還支出			
長期貸付金支出			
投資有価証券取得支出	21,421,000	49,476,000	-28,055,000
積立資産支出			
拠点区分間長期借入金返済支出			
拠点区分間繰入金返済支出	25,000,000	23,700,000	1,300,000
サービス区分間繰入金支出	10,000,000	13,000,000	-3,000,000
その他の活動による支出			
その他の活動支出計(8)	56,421,000	86,176,000	-29,755,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	31,390,000	51,282,000	-19,892,000
準備費支出(10)	383,000	1,319,000	-936,000
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-15,211,000	-10,630,000	-4,581,000
前期末支払資金残高(12)	291,942,122	302,572,122	-10,630,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	276,731,122	291,942,122	-15,211,000

勘定科目	拠点区分		合計	内訳引当金	事業区分合計
	法人本部	ひまわり園			
介護保険事業収入			815,406,000		815,406,000
施設介護収入			309,032,000		309,032,000
利用者負担金収入(公費)			277,463,000		277,463,000
利用者負担金収入(一般)			194,000		194,000
居宅介護収入			3,375,000		3,375,000
(介護報酬収入)			182,067,000		182,067,000
介護報酬収入			163,912,000		163,912,000
(利用者負担金収入)			155,741,000		155,741,000
(利用者負担金収入)			8,171,000		8,171,000
介護負担金収入(公費)			18,155,000		18,155,000
介護負担金収入(一般)			356,000		356,000
介護予防給付収入(公費)			16,762,000		16,762,000
介護予防給付収入(一般)			27,000		27,000
介護予防給付委託収入(公費)			1,010,000		1,010,000
介護予防給付委託収入(一般)			115,493,000		115,493,000
地域密着型介護収入			102,823,000		102,823,000
(介護報酬収入)			102,823,000		102,823,000
介護報酬収入			12,670,000		12,670,000
(利用者負担金収入)			12,670,000		12,670,000
介護負担金収入(公費)			27,015,000		27,015,000
介護負担金収入(一般)			22,978,000		22,978,000
介護予防給付委託収入(公費)			4,037,000		4,037,000
介護予防給付委託収入(一般)			131,383,000		131,383,000
介護負担金収入(公費)			1,900,000		1,900,000
居宅介護支援介護収入			100,000		100,000
居宅介護サービス利用収入			66,721,000		66,721,000
食費収入(公費)			62,672,000		62,672,000
食費収入(一般)			50,406,000		50,406,000
居住費収入(公費)			780,000		780,000
居住費収入(一般)			3,015,000		3,015,000
その他の利用収入			46,611,000		46,611,000
補助金事業収入			50,406,000		50,406,000
市町村補助事業収入			780,000		780,000
委託事業収入			3,015,000		3,015,000
その他の事業収入			46,611,000		46,611,000
(収支等差込)					
児童福祉事業収入	290,432,000	201,432,000	491,934,000		491,934,000
児童福祉事業収入	290,922,000	196,922,000	477,744,000		477,744,000
事務費収入	240,588,000	186,643,000	427,231,000		427,231,000
事業費収入	40,334,000	10,779,000	50,313,000		50,313,000
その他の事業収入	9,580,000	4,610,000	14,190,000		14,190,000
補助金事業収入(公費)	1,905,000	2,085,000	3,970,000		3,970,000
補助金事業収入(一般)	2,885,000	150,000	3,015,000		3,015,000
受託事業収入(公費)	10,000	10,000	20,000		20,000
受託事業収入(一般)	4,800,000	2,885,000	7,165,000		7,165,000
その他の事業収入	16,152,000	16,152,000	16,152,000		16,152,000
経費事業収入			420,000		420,000
利用料収入(公費)			420,000		420,000
利用料収入(一般)			15,732,000		15,732,000
その他の事業収入			15,732,000		15,732,000
補助金事業収入(公費)			15,732,000		15,732,000
補助金事業収入(一般)			324,000		324,000
その他の事業収入	324,000		324,000		324,000
借入金利息補助金収入			100,000		100,000
経常経費寄附金収入	600,000	845,000	1,795,000		1,795,000
受取利息配当金収入	972,000	16,000	1,004,000		1,004,000
その他の収入	1,070,000	3,004,000	6,751,000		6,751,000
受入研修費収入			180,000		180,000
利用者等外給食費収入	1,070,000	2,654,000	4,676,000		4,676,000
雑収入	1,070,000	40,000	1,110,000		1,110,000
流動資産評価差等による資金増加額					
事業活動収入計(1)	2,966,000	294,367,000	815,803,000		1,333,396,000

# 社会福祉事業区分 資金収支予算明細書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

# 2023年度 社会福祉法人芙蓉会 予算計画

(単位:円)



# ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

- あぞみの会 野上
- 社会福祉法人明光会 安倍学園
- いいずみファミリークリニック
- 岩間和作
- 稲垣廣敏
- (株)ABC
- (株)かつまた
- 川原崎政雄
- (株)小林製作所
- 近藤鋼材グループ エルフィーグリーン(株)
- (株)サンゲツ
- ジャトコ(株)
- 杉山和利
- 清泰人
- 清都
- (株)Daska&Desiree
- トヨタユニテッド静岡(株)
- nattoku住宅(株)
- "N"
- 美影館 佐藤昌之
- 富士市サッカー協会4種委員会
- 丸山商事(株) 丸山正
- (株)マルハン荒田島店
- 三浦安寿
- 門司一徹
- 山大園 渡辺栄一
- (株)山清倉庫
- 吉原教会 柳澤光子
- 他 匿名7件

(R5.1.1~3.31)

## 後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 個人会費 1□ 1,000円      会 社 団 体 会 員 1□ 3,000円

振込先 (郵便局振替口座)

・ □座番号 00880-0-2423    ・ □座名称 芙蓉会后援会

### 何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行  
店 名 ○八九店  
預金種目 当座  
□座番号 0002423  
□座名義 フヨウカイクウエンカイ

## 寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店  
預金種目 普通預金  
□座番号 0817169  
□座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦  
シャカイクシホウジンフヨウカイ  
リジチョウ ナイトウヨシヒコ

## 編集後記

「芙蓉」を最後までご覧いただき、ありがとうございます。

創刊号が平成12年12月8日に発行され、23年の月日が流れて、今回で80号になります。編集に行き詰りますと、創刊号から見返すことがあります。懐かしい写真が出てきて、自然と笑顔になっていたりします。いつでも主になっているのは、「生活の様子」であることに気がつきます。子ども達や利用者様、職員が生き生きと生活している様子を、記事や写真を通して、皆さまにお伝えすることが、この広報誌のコンセプトであり原点です。この広報誌を編集しているメンバーは、各施設の現場の職員です。生活の中にいる私たちだからこそ、お伝えできるものを大切にしたいです。